

広報 まにわ

第9号 2006

人と環境にやさしい杜市づくり

主な記事

- 市長・議長新年のごあいさつ P2～
- 杜市の明日を考える情報化編③ P3～
- お知らせワイド版 P11～
- 市政トピックス P16～
- ぐるっと真庭まちの話題 P30～

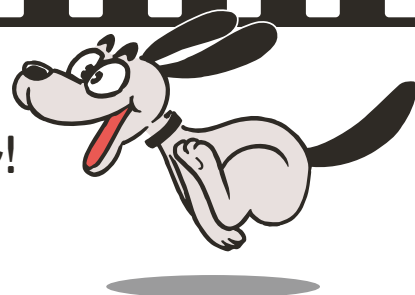
謹賀新年

真庭市の 放送カタチ

ラストワンマイル事業で目指す情報格差の解消



テレビ画面から真庭市の姿が見える時代がやってくるワンッ!





真庭市議会議長
小谷 孝佳

市 民の皆様には、お健やかに2006年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。市民皆様には、3月31日の市誕生以来、多方面にわたりご助力いただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の国内情勢を顧みますと、郵政民営化問題、衆議院の解散・総選挙が政局最大の焦点でありましたが、今年度は国の平成18年度一般会計予算が平成17年度を大きく下回る80兆円前後、このうち、地方交付税も平成17年度比で1兆円の減額で正式決定となる

ようです。また、消費税引き上げ法案は、報道では2007年通常国会には間に合わないといわれているものの、この年明けから論議が本格化されるなど、地方がおかれる経済状況は、ますます厳しいものになることが予想されます。

ご承知のとおり、現在の社会情勢は、国際化・情報化・高齢化が急速に進展しています。量・質ともにますます複雑多様化している行政需要は、真庭市においても克服すべき大きな課題として、誠に厳しいものとなっております。

このような中、合併から1年が経つ真庭市では、平成18年度からは真庭市の将来像を描き、新たなまちづくりの指針とする「真庭市総合計画」に沿って行政サービスが行われます。

私ども、議決機関といたしましては、より豊かで住み良い杜市づくりを目指してさらに創意工夫を重ね、市民皆様方のご期待に応えるよう決意を新たにしています。どうか、本年も相変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

2006年1月



真庭市市長
井手 紘一郎

明 けましておめでとうございます。市民の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新市発足以来、市政推進のために格段のご支援賜っておりますことを深く感謝申し上げます。

私は「賑わいと安らぎの杜の都・真庭」の創造に向けて、「創造・改革・融和」を基本理念のもと、9カ月間全力を傾注して参りました。何事においても新しいものを創造することには困難が伴うものでありますが、こと地方自治体の場合、市民の期待に応えるため

には厳しい試練を覚悟しなければなりません。

現在、真庭市の基本となる方針、すなわち「真庭市総合計画」を策定中であり、真庭市の目指すべき夢と希望に満ちた将来像を市民の皆様にお示しいたさなければなりません。計画で10年先の真庭市の姿を明確にするとともに、まずは18年度予算編成に生かしていきたいと考えています。

9力町村の行政上の垣根を取り除かれた真庭ですが、素晴らしい自然の恵みと地域資源に富んでおり、飛躍的に

発展する可能性を秘めていると思います。東西南北に走る高速自動道の交通拠点性を存分に生かし、産業振興、とりわけ観光客500万人の観光回廊までにわ、ラストワンマイル事業が完成した高度情報先進地化、さらには全国一のバイオマスタウン構想の実現、医療福祉圏の構築など、真庭の持つ潜在的实力、魅力を倍増していきたいと決意しています。

市民皆様の限りないご多幸と、ご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



真庭市の 放送^{広報の}カタチ

ラストワンマイル事業で目指す情報格差の解消



放送の統合も目指しています。

真庭市が進めるラストワンマイル事業では、

地域情報を提供している放送広報。

設備が現在も使われています。市民皆さんに、

は合併前の旧町村時代に整備された別々の放送

葉です。あいさつが異なるように、真庭市内で

内で使用されている各放送施設放送はしめの言

ところ変われば品変わる。これは、真庭市

「こんにちは。○月■日のKHKニュースです。」

「□時のお知らせの時間です。」

「朝のお知らせの時間です。○月■日△曜日

「おはようございます。朝のお知らせです。」

「こちらは防災まにわ市●●です。」

杜市の明日を考える
情報編③

まにわが光る

市町村防災行政無線（北房支局管内） 昭和61年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ）◎市内・地域行事予定◎同報無線利用者協議会からのお知らせ◎その他①チャイム②音楽

市町村防災行政無線（落合支局管内） 昭和58年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ・出生（出生は1週間分まとめ）◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ）◎市内・地域行事予定◎同報無線利用者協議会からのお知らせ◎その他①チャイム②音楽（子どもたちの帰宅促進）

オフトーク通信放送（勝山支局管内） 平成5年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ・出生◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ、数分間の番組形式あり）◎市内・地域行事予定◎その他①NHKニュース音声放送②ラジオ体操③チャイム④音楽（子どもたちの帰宅促進）⑤使用料を徴集した一般・営業放送

放送システムのかたち

市内の自主放送システムは4つのタイプに分類

地域の行事、戸籍の動きなどの情報を、毎日伝える市内自主放送。合併前の旧町村は、それぞれが最善と考えるシステムを採用して地域情報や役場からのお知らせを、住民皆さんにお届けしてきました。そして、市となった現在も、この放送システムはそれぞれの支局管内で運用され、真庭市の情報を皆さんにお届けしています。

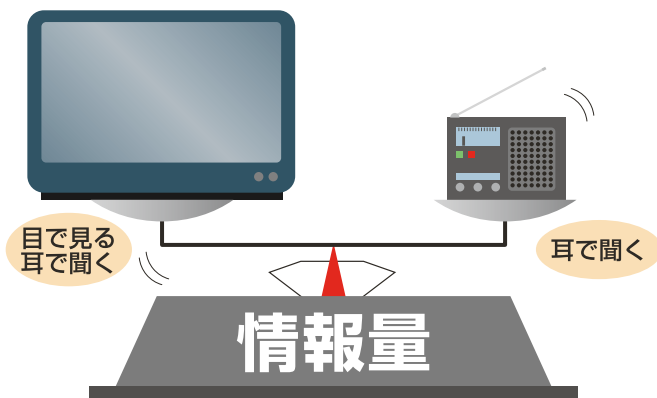
この市内で活用されている自主放送システム。伝達方法で大きく分けると、各戸にスピーカーを設置し音声だけで伝えるもの、そして音声＋映像利用のものに

分類できます。さらに、音声だけで伝えるシステムでは、その通信手段から①市町村防災行政無線②オフトーク通信（N T Tの加入電話回線を利用して行う）③支局管内だけに自設した有線を利用したものに分類することができます。

情報量の格差

現在の各自主放送システムは、それぞれの支局管内だけに情報をお知らせする設備として独立しています。放送にのせる「情報」としては、「市」になったことで今まで流れることのなかった他の支局管内の行事やイベントもお伝えすることができるようになりました。しかし、実

テレビとラジオ、「情報」の量が多いのはどちら？



際には各システムは放送の運用規則（法律で定められた）のあり方が異なっているため、旧町村時代から練り上げてきた放送内容が、似通ってはいても少しずつ異なっています。ここに、わずかな差はありますが、同じ市内であっても情報量の格差が生まれています。

また、8つの支局管内で行われている音声放送に対して、久世支局管内では、「音声＋映像」のケーブルテレビ（K H K）を活用しています。この中で市からのお知らせや議会報告、また、行事予定、地域の様子などが「動く姿」として提供されています。流れる音声は耳に入る、テレビはスイッチを「ON（オン）」に見なければならぬという違いはありますが、「百聞は一見に如かず」という言葉もあります。目と耳の両方から入る情報量は音声だけに比べて圧倒的に多く、一段階進んだシステムが久世支局管内では運用されています。

ラストワンマイル事業で同じ情報を同時に全家庭へ

面積828平方キロという大きな体で動き始めた「真庭市」。産業・地域振興、保健・福祉の向上。地域力を養い市を発展させていくためには、「同じ真庭市民という意識」が必要不可欠です。また、そのためには、お互いの地域を良く知る機会が増えることも必要でしょう。市民皆さんが市役所からの全く均一な

市町村行政防災無線(八束支局管内) 昭和63年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ）◎地域行事予定◎農林畜産物生産・流通技術情報（病害虫発生情報）◎風害・降霜などの気象情報◎その他①チャイム②求人情報

有線電話放送(美甘支局管内) 昭和41年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ）◎地域行事予定◎その他①NHK音声放送②ラジオ体操（夏期休暇中）③音楽（小学生の帰宅促進）④使用料を徴集した一般・営業放送

市町村行政防災無線(川上支局管内) 平成14年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ）◎地域行事予定◎農林畜産物生産・流通技術情報（病害虫発生情報）◎風害・降霜などの気象情報◎その他①チャイム

市町村行政防災無線(湯原支局管内) 平成10年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ）◎市内・地域行事予定◎同報無線利用者協議会からののお知らせ◎その他①ラジオ体操（夏期休暇中）②チャイム③音楽（子供の帰宅促進、健康づくり促進）

ケーブルテレビ(KHK)久世支局管内

主な放送内容：
①その日にあった市内・地区内のニュース
②お誕生・お悔やみのお知らせ
③市内行事予定
④店舗などのCM（有料）
⑤KHK取材による自主制作番組
⑥「NHK連続テレビ小説」（再）
⑦県ケーブルテレビ振興協議会の共同制作番組
●支局・消防署などによる音声告知放送
※お悔やみ放送・火災放送・緊急放送（災害情報）・選挙におけるお知らせ放送など

オフトーク通信放送(中和支局管内) 平成6年放送開始



音声

主な放送内容：
◎緊急放送（災害など）◎お悔やみ◎行政連絡（官公庁からの各種お知らせ）◎地域行事予定◎農林畜産関連情報（病害虫発生情報など）◎風害、降霜などの気象情報◎その他①ラジオ体操②チャイム③使用料を徴収した一般・営業放送



音声+映像

情報量を受け取るという点だけみれば、今は広報紙などの印刷物にとどまっています。しかし、一体感醸成のため、お互いの地域をよく知る機会を増やすためには、真庭市全域を対象とした新たな情報媒体も必要と考えられます。

真庭市が進めるラストワンマイル事業では、各家庭まで接続される光ファイバ網を利用し、「真庭市独自のテレビ局開設」を目指しています。また、2011年には、すべての地上波テレビ放送がアナログ波から、デジタル波放送に切り替わります。真庭市では一体感醸成と、時代の変革にもラストワンマイル事業で対応しようとしています。

★音声放送聞いていますよ

INTERVIEW



●有線放送

川西益子さん
(美甘)

朝の放送で目を覚まし、夜は行政や地域の大切な放送が流れるので、テレビの音をしばって耳を傾けています。美甘地区内だけに電話するときは、有線電話を利用しています。



●オフトーク放送

藤原 栄さん
(神代)

足腰が弱り、血圧も高いので医師や保健師さんが流す健康づくりの放送を注意して聞いています。午後からの行事予定を聞くことも欠かせません。放送は、わたしの生活必需品だと思います。



●防災無線

西田和一さん
(田原山上)

行政からの大切な情報が流れるので、とにかく聞くようにしています。最近ではテレビが情報の中心ですが、身近な地域の情報や緊急の連絡には、防災無線の必要性を感じます。

音声+映像の カタチ

ケーブルテレビジョン

KHK

市内で運営される各放送システム。この中で唯一、久世地域では、『音声+映像』=ケーブルテレビという形が導入されています。ラストワンマイル事業で目指す『真庭市独自のテレビ局』の原型ともいえるKHKについて、少しだけご紹介します。



◎視聴可能エリア 久世支局管内
◎KHK加入世帯数 3,044世帯
◎加入率 久世支局管内世帯数の80%
(H17.9月末現在)

有線電話放送の後継として開局

真庭市内で、現在使用されている防災無線・オフトーク放送の各システムは、有線電話を利用した放送施設（※美甘支局管内では現在も利用中）の後継として、開設されたものです。

同様に、平成7年4月に開局したKHKも、昭和34年に始まり農協主体で運営されていた有線電話放送設備の老朽化に伴う後継施設です。数ある情報伝達媒体の中から選び開設した主な理由は、培われた有線放送の広報ノウハウを生かし『映像でまちのニュース、各種団体活動、文化、福祉、農事にいたる番組をリアルタイムに伝達することで「活力あるまちづくり」を推進し、行政サービスの高度化を目指す』でした。

現在は、岡山県内各地に増えたケーブルテレビ局。その中でも、KHKは早期に開設され、開局から10年が経過しています。

受信点から局までは光ファイバ

標高540mの寺畑山アンテナ受信点。ここがKHKが加入世帯に提供しているNHKや民放テレビ局各チャンネル電波の受信場所になっています。受信点から加入世帯への配信中継局であるKHK局舎（久世エスパス横・鍋屋）までの、3、340区間は、受信した信号を光ファイバで送信しています。



■音声告知機 災害などの緊急時の放送は、KHK、久世庁舎双方から音声で放送が可能。このほか、FM放送も配信している。



▲寺畑山受信点設備 県南部の金甲山から送信される民放8局の電波を受信している
◀送出装置 アンテナで受信したテレビ信号を各家庭に送り出す局内の装置



INTERVIEW

開局前夜

大下孝和さん（久世）

昭和36年から平成6年の有線放送終了まで旧久世町農協の放送業務に携わる。旧久世町ケーブルテレビ研究推進会議、有線テレビ建設委員会委員としてKHK設立に尽力。

KHKが開局する以前の情報媒体は農協が運営する有線放送でした。多くの住民が登場する番組づくりは、多くの賞を受賞し、地域で長く親しまれていました。

また、旧久世町では、テレビが社会に普及し始めたころから、この有線放送に映像をのせるテレビ放送の情報力が認識されており、期待を込めて必要性が当時の関係者を中心に唱えられていました。有線放送の充実が、やがて、設備が老朽化し新しい設備へ変更する必要性が生じたときに、迷うことなくケーブルテレビ導入を選択する大きな力になったのだと思います。情報というものは、耳で聞くことより、目で見たほうがはるかに説得力があります。市誕生後の情報共有のためにも市内全域のテレビ局は賛成です。コストや高齢者対応も考えた情報窓口になるものを築いてほしいですね。

KHK 提供チャンネル

CH	放送局	CH	放送局
1	KHK総合	12	グリーンチャンネル(農水省)
3	テレビせとうち	21	NHK衛生第1
4	NHK教育	22	NHK衛生第2
5	コミュニティチャンネル	その他のチャンネル	
6	山陽放送	※FM放送	NHKFM
8	瀬戸内海放送		FM香川
9	西日本放送		KISS FM
11	サンテレビ		FM802
			FM大阪

※音声放送

ラストワンマイル事業では、光ファイバを各家庭、事業所の軒先まで接続することを検討しています。現在のKHKケーブルテレビでも、この形と同じように各家庭軒先まで同軸線を接続し、KHK番組、地上波民放各局、衛星放送、音声放送（緊急放送・FM放送）を加入世帯に送信しています。



■軒先までつながった同軸線
(写真はKHKが各家庭軒先まで延ばしたもの)

地域密着情報提供で加入率80%
久世支局管内は、KHKが設立される以前、各家の屋根の上にアンテナを取り付けるだけでテレビを見ることができた。世帯と難視聴地域世帯（※管理組合をつくり共聴アンテナで電波が受信可能になる）が混在する地域でした。
KHK設立当初の世帯加入率は約80%。かつて難視聴地域であった世帯数を上回る高い加入率から始まり、現在もこの率を維持しています。地域住民が画面に登場する。地域のニュースが映像として毎日提供される。KHKでは多チャンネル化で付加価値をつけるとともに、地域に根ざしたニュースや特番などの自主制作番組を提供し続けています。自主制作番組で支えられる高い加入率は、真庭市が久世地域に提供するケーブルテレビ事業KHK財政面の大きな基盤となっています。



■午後6時のニュースの収録本番中
緊張感の走る瞬間。視線の向こうに収録スタジオがある



■コントロールルーム 収録されたビデオを編集。上のモニターには受信中の各テレビ局映像が並ぶ



■スタッフの収録風景 住民の中に飛び込んで取材。まちの笑顔をニュース番組で提供

自主放送番組の柱はニュースと企画モノ

KHKが「チャンネル5」で提供している番組の大きな柱は、15分間のニュースと45分間の自主企画番組です。この内容を中心に朝6時から午前零時まで放送しています。1日の放送内容が更新されるのは午後6時。KHKスタッフ7人が、それぞれプロデューサー、カメラマン、記者、アナウンサーと一人何役も兼ね、毎日、市内に飛び出して市民を主役取材した内容、市からの重要なお知らせなど番組を制作しています。ひと月に作成する自主企画番組は、平均して20本。対談、お店・会社訪問、趣味、ペット紹介、料理、農事、文化芸術、突撃インタビューなど、多彩な内容で地域に親しまれる番組を提供しています。

◎写真は実際の画面を撮影したものです



■真庭市議会定例会（上）
（写真は12月定例会開会時の様子）



■公開録画番組（左）
KHKでは、自主企画番組としてエスパホールを使用した公開録画番組も制作している

KHK 番組づくりの カタチ

KHKがニュース、地域情報を自主制作し放送するチャンネルがあります。名称は、「コミュニティチャンネル5」。チャンネルでは、地域住民の皆さんが主役となる企画番組から特集番組、エスパ振興財団の催し情報。そして、市議会の模様など市のお知らせを提供しています。

壁に貼ってください。お願いします。

毎日、午後6時から新しい番組になります

00分～:KHKニュース
15分～:自主番組・下表

CATV

KHK

番組表

Channel 5

2005

12月

〒719-3214 真庭市銀座17-1
(財)久世エスパ振興財団 KHK
TEL:42-7200 FAX:42-7201
地域のニュース・情報を
お寄せください

日	月	火	水	木	金	土
1 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	2 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	3 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	4 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	5 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	6 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	7 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開
8 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	9 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	10 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	11 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	12 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	13 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	14 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開
15 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	16 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	17 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	18 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	19 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	20 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	21 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開
22 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	23 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	24 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	25 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	26 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	27 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	28 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開
29 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	30 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	31 お元気で? 長寿バンザイ 地上波デジタル 放送の展開	真庭市議会12月定例会			
1 / 1 午前6時から 年間のあひさつ 午後6時から エスパ通信 新日フィル	2 / 2 久世エスパ第九演奏会 12月18日(日) エスパホール 全席自由 開場14:15 開演15:00 一般2,500円 高校生以下1,000円	3 / 3 KHKチャンネル5 午後6時からKHKニュース、6時 15分自主番組(表上欄)7時 15分自主番組(表下欄)、この 2時間を繰り返し放送していま す。午後6時～6時はお休みです。	4 / 4 CM制作 KHKでCMを放送します。放送 時間は15秒と30秒です。1日の 放送料は3,000円～8,000円 で時間によって違います。文字画 面制作は3,000円で、写真やビ デオを使うと少し高くなります。			

INTERVIEW



番組は
地域の話

植田桂子さん
(草加部)

学校行事などが放送されるので、子どもたちの様子がよくわかります。また、近所の方が出演すると、それを話題にして話が盛り上がります。地域のコミュニケーションも深まりますね。



活動の力に

入江 實さん
(目木)

ボランティア活動や趣味の会など、生涯学習活動も地域のニュースで取りあげられます。参加する自分にとっても張り合いが生まれます。これからもますます元気で頑張りますよ。

◎「コミュニティチャンネル5」の番組編成表

番組の更新は毎日、午後6時のニュースから。15分間ニュースと45分間の自主企画番組を、午後6時から午前零時までと、午前6時から午後6時までの間で繰り返し放映している。市誕生後は、久世地域以外の他地域で行われている行事も取材しニュースとして紹介。KHKではCM制作も行っている。(番組表は2005年12月のもの)



INTERVIEW

KHKの番組づくり

氏平篤正

久世エスパス振興財団事務局長

常に「久世地区民主役のテレビ局」を意識して番組を作り、どうやれば住民の中に溶けこむことができるのか、どうやれば住民の方々がテレビに登場していただけるのかを考え続けています。番組内容はさまざまです。「KHKを見たでえ」「頑張っとなあ」と、地域に話題を提供することで、コミュニティの向上を図ること。これがケーブルテレビ事業の初期目的です。もちろん、財団は行政から委託を受けて運営している訳ですから、行政広報も伝えています。議会報告、市役所通信、お知らせ、市長メッセージ、訃報などをお伝えしています。

50年の大計といわれた町村合併では、その会議すべてをニュースにしました。特集を組み、ことあるごとに合併協議会会長に登場いただき、その経緯と考えを報告してきました。久世地域内でも、賛成・反対はあったものの、町村合併の流れについては、視聴者皆さんは理解していたと思います。

ここに情報を発信する、情報をキャッチする、情報を共有する、情報を選択する、正しい選択をする、メディアとしての価値が生まれます。KHKは今、有料を含めて18チャンネルを各家庭に配信し、ニュースは1日3本以上流しています。土曜日、日曜日にも休むことなく365日業務を行っています。それでも満足していただけないのが現状であり、まだまだ努力が必要と痛感しています。

真庭市のテレビ局が誕生すると、高機能となり情報も増えるでしょう。ケーブルテレビの命である身近な話題が、その日のうちに放送できる体制づくりを目指して欲しいと思います。

※久世エスパス振興財団は、真庭市からKHKの運営を委託されています。

市の主な行事をタイムリーに放送
毎日、放送されるニュース。この中には、毎日の地域の話題のほか、その日にあった市の動きもニュースとして扱われ放送されています。また、市からの大切なお知らせは「市役所通信」や、市主催の大きな行事は特番として時間枠がとられ放送されています。また、市役所の議場を訪れないと通常は傍聴できない議会の様子。KHKでは、真庭市議会定例会の模様を、開会から議会一般質問の様子まで放送しています。



■中継車 議会の模様録画などでは中継車が活躍

KHKではこんな自主制作番組を提供しています(一部)



■大きくなったね 誕生日を迎えたお子さんの紹介番組



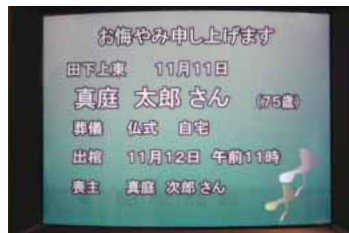
■KHKニュース その日のニュースはその日のうちに



■よってこ! おでん屋 スタッフの突撃取材が笑いを誘います



■料理番組 調理を指導するのは地元グループの皆さん



■お悔やみ放送 字幕放送で流れます



■おまつり中継 だんじりげんかの迫力を映像で紹介

他の8支局にはDVDで映像を提供しています

今のところ、久世支局管内の加入者だけ視聴できるKHKの番組放送内容。他支局管内の皆さんにも放送内容をお分かりいただくため、DVDに内容の一部を収録し、各支局窓口へお届けしています。見てみたいと思われる方は各支局窓口へお申し出ください。

★KHK見てますよ



わたしもでたよ

利久法子さん
遷喬小学校3年

う〜ん。夜7時からニュースをよく見ます。学校のことや、友だちが登場するときはよく見るかな。運動会や剣道スポーツ少年団のニュースでは、わたしもテレビに登場したことがあります。



ラストワンマイル 事業で目指す カタチ

通信環境の整備

かつて、利用されていた有線電話放送。地域内へのお知らせ手段として、また、地域限定の電話施設として活用されてきました。しかし、施設老朽化への対応と、新通信設備を求めて、旧各町村は現在の放送設備を選び導入に踏み切りました。導入を検討した時代から現在。放送の基盤となる通信技術の世界では、インターネットに代表される大革新が起き、その影響は通信の分野にとどまらず、経済活動にも大きな影響を与えています。このインターネットの世界では、大量の情報を早く送受信できる環境があるほど、活用できる度合いが高まります。残念ながら真庭市のような山間部では、民間に

よる基盤整備が期待できず、現在のインターネットの世界で、標準となっている通信速度は一部地域でしか使用できません。ここに都市部と地方の大きな情報環境差が生まれています。



■新幹線 デジタル技術の進歩は、通信の世界にも高速・大量輸送を求めている。乗客数は情報の量、スピードは情報が伝わる早さ

地上デジタル放送にも対応

まもなく訪れる2011年。国の進めてきた地上デジタル放送への切り替えで、地上アナログ放送が全面終了します。つまり、「デジタル放送への対応が整っていない地域では、今のテレビのままでは、楽しみにしているテレビ番組も見えなくなる」ということになります。

地上デジタル放送が、すでに、始まっている大都市圏では、難視聴地域（山々

に囲まれた地域）が少ないため、①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える②今使用のテレビに専用チューナーをつける③ケーブルテレビに加入し、デジタル契約を結ぶの3つの方法のどれかで対応ができました。

難視聴地域が多い真庭市では、ラストワンマイル事業で、高速大容量の光ファイバを市内各家庭、事業所の軒先まで敷設する全市内共通環境を目指します。この光ファイバの中では、これまでの同軸線などよりはるかに大量の情報が高速、つまり、「デジタル信号化された「光」が流れます。「真庭市独自のテレビ局」は、この優れた通信環境を活かし、各テレビ放送局などが送信するデジタル放送を一括受信し、希望家庭・事業所まで配信するとともに、地域情報を映像で提供するものです。

真庭市独自のテレビ局は 情報化のカタチのひとつ

真庭市では、現在、「真庭市情報化計画策定委員会」が計画を策定中です。この計画の中では、ラストワンマイル事業で得られるメリットを最大限生かすことを検討中です。「真庭市独自のテレビ局」。この内容も、計画の中では、光ファイバ敷設で可能になる、IP電話やインターネット環境向上などと並ぶひとつのカタチでしかすぎません。

「コンピューターなど使えない」という高齢者でも、「テレビのスイッチなら」と



■テレビのスイッチ パソコン使用は難しくできないが、テレビのスイッチならという高齢者も多いでしょう

INFOMATION

お問い合わせ先

■ラストワンマイル事業
市役所情報推進課
TEL0867-44-2646

■デジタル放送化
岡山地域受信対策センター
TEL0120-302-522

■KHK
TEL0867-42-7200

「真庭市独自のテレビ局」も、次代への布石のひとつです。
(真庭市放送広報のカタチおわり)

真庭市入札参加資格申請 受付は2月28日まで

手続きは
電子申請から

入札に参加したい事業者は申請してください
受付期間終了後の受付はありません

平成18年度に真庭市が発注する建設工事、測量・建設コンサルタント、物品・役務などの参加資格申請書の受付を行います。期間終了後の受付はありませんので、入札に参加を希望する事業者は真庭市ホームページ上および各支局窓口の提出要領をご覧ください。早めに準備を進めてください。



受付方法

・電子申請および統一様式

事業者は最初にインターネット上で電子申請を行い、状態が「申請済み」であることを確認したのち、申請書類を管財課へ提出してください。申請書類は持参または郵送（2月28日消印有効）してください。

電子申請の入力方法および各申請書の提出要領を真庭市のホームページに掲載しています。また、支局窓口にも要領などを置いてありますので、ご覧ください。提出要領は①建設工事、②測量・建設コンサルタント、③物品・役務の3つに分かれています。それぞれ申請書類が異なりますので、ご注意ください。

受理および

真庭市入札参加資格者名簿登載期間

提出された申請書および添付書類を真庭市建設工事等入札参加資格審査規程に

基づき審査した結果、資格を有すると認められた事業者は、真庭市の作成する入札参加資格者の名簿に登載されます。登載期間は、その年の6月1日から翌年の5月31日までの間とし、入札参加資格を有します。

受付期間 2月1日(火)～2月28日(火)
午前9時～午後5時まで（土、日曜、祝日を除く）

※期間中の電子申請入力時間は、午後10時まで可能です。

申請書提出先

管財課（〒717-0013 真庭市勝山53-1 勝山庁舎内）

注意点

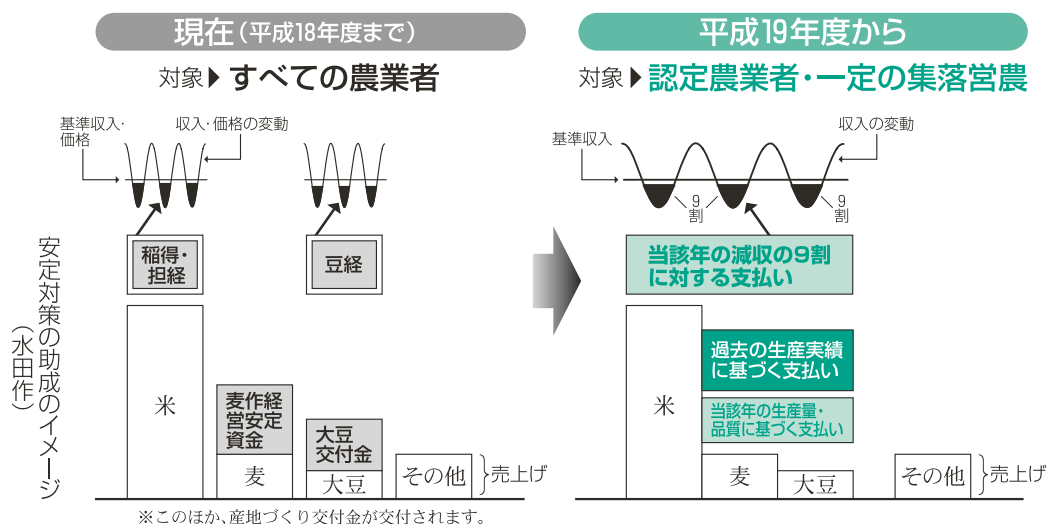
- ・管財課以外では、申請書類の受付は行いません。
- ・提出要領には、参加に必要な資格および提出書類一覧表が掲載されています。
- ・受付期間終了後の受付はありません。

麦・大豆 平成19年度から 国の助成制度が変わります

認定農業者のほか、一定の条件を備える集落営農組織が対象となります

農業振興課 TEL0867-42-1031

図-1 新たな経営安定対策のイメージ



現在、麦や大豆など品目別に講じられている経営安定対策を見直し、対象を『担い手』に限定した「新たな経営安定対策」が平成19年度から導入されます。（図-1）。今年中に地域の農業が目指す将来像を描き、「担い手づくりに取り組むことが求められています。」

19年度から新たな対策がスタート

平成19年度から「新たな経営安定対策」が導入されます。新対策が導入されると、麦や大豆の生産者手取り額の6〜7割を占める、現行の麦作経営安定資金や大豆生産者団体等交付金は、今のままでは受けられません。現在、安定対策の助成を受給している生産者や生産組織は、「新たな経営安定対策」の要件を満たす「担い手（経営体）」となる必要があります。

「担い手」とは

認定農業者および集落営農組織のことをいいます。集落営農組織の場合は左記の一定要件を満たすことが必要です。

① 地域の農用地の3分の2以上の利用集積を目標とすること

※経過措置として、当分の間、地域の生産調整面積の過半を受託する組織は2分の1以上

② 組織の規約を作成すること

③ 集落営農の口座を設け、集落の経理を一括して行うこと

④ 中心となる従事者の農業所得目標を決めること

⑤ 5年以内に農業生産法人化の計画を持つこと

小規模な農家や兼業農家の方なども、一定の要件を満たす集落営農組織に参加することにより、「担い手」の一員となることができます。

集落営農組織における経営規模の特例

集落営農組織として、20人（20戸）以上の規模が必要となりますが、経営規模において

は特例が設けられました。

○ 中山間地域などの特例

物理的な制約で規模拡大が難しい地域で、おおむね8割、中山間地域の集落営農では5割の範囲内で緩和できます。

○ 生産調整組織の特例

地域の生産調整面積の過半を受託する組織については20人に生産調整率をかけた分の範囲内で緩和可能です（下限は7割）。中山間地域の転作受託組織はさらに8分の5をかけた範囲まで緩和可能（下限は4割）。

○ 所得に応じた特例

複合経営などについて、相当水準の農業所得を確保し、米・麦・大豆など対象品目の収入、所得、経営規模のいずれかが経営全体の3分の1以上である場合、個別に認定します。

「担い手」づくりは急務

今年中に、明確なスケジュールに基づく実な「担い手づくり」が必要となります。そのためには地域全体が「新たな経営安定対策」について十分理解し、地域の農業が目指す将来像を描きましよう。各地区の説明会を2月ごろから始めます。

詳しくは、お問い合わせください

・ 農業振興課

・ 真庭市農業委員会

TEL 0867(42)1676

・ 真庭農業改良普及センター

TEL 0867(44)3111

・ お近くのJA

真庭市地域包括支援センター 嘱託職員募集

平成18年4月1日、介護保険の制度改革に伴い、真庭市地域包括支援センターが落合庁舎内に、地域支援センターが各支局にオープンします。このセンターは介護予防事業のマネジメントおよび高齢者や家族に対する総合的な相談・支援を行う場所です。嘱託職員を募集しますので、ご応募ください。

■勤務条件など

業務内容 介護保険の新予防給付に関するケアマネジメント業務

応募資格 介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を有する方 ※普通自動車運転免許取得者および取得見込者

募集人員 5名程度

雇用期間 平成18年4月1日～平成19年3月31日

※勤務成績が良好な場合は更新可能

勤務場所 真庭市各支局の健康福祉課（市民福祉課）のいずれか

勤務時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）

8:30～17:15

給与など 月額180,000円程度

（通勤手当有り、期末手当1カ月）

各種制度 雇用保険、健康保険、厚生年金保険適用

その他 研修期間を3月中に実施するため、採用予定者を平成18年3月1日付けで一般事務職員（日額で研修期間の雇用）として採用



介護予防の新たな取り組みが始まります

■申し込み方法

提出書類 履歴書1通（市販で可）

介護支援専門員登録証明書の写1通

受付期間 平成18年1月10日（火）～1月31日（火）

試験日 平成18年2月10日（金）

試験内容 面接

問い合わせ・申し込み先 職員課（〒717-0013

真庭市勝山53-1） TEL0867-44-2612



「水道管の凍結予防にご協力ください」と水道課職員 二宗さん

防げます。 水道管凍結

水道課

TEL 0867(44)5291

毎年この時期になると寒波のため、水道の蛇口や吸水管などが凍って破裂するなど、トラブルが多くなる季節です。安全に水道を使っていたくために、次のことを守ってください。ほんの少しの注意で、水道管などの凍結は予防できます。

凍結を防止するには
・特に冷え込みが予想される夜は、メー

ターから最も離れた場所の蛇口を糸状に水を流しておけば凍結は防げます。水道管の場合、凍結しやすいのはメーター部分です。メーターボックスの中に布や発泡スチロールなどを詰めて保温することが大切です。屋外に出ている水道管には、凍結予防ヒーターを使用するのが効果的です。

たときにのみ、通電する仕組みになっています。電源プラグは絶対に抜かないでください。

水道管が凍ってしまったときは
水道管にタオルを巻いて、その上からゆつくりぬるま湯をかけて溶かしましょう。直接熱湯をかけると水道管が破損する場合があります。もし、水道管が破裂したら屋内バルブを閉めて、真庭市指定給水装置工事事業者（市ホームページに掲載）に連絡し、修理してください。また、積雪などで屋内バルブの場所が分からなくなる場合があります。普段から屋内バルブの場所を確認しておきましょう。

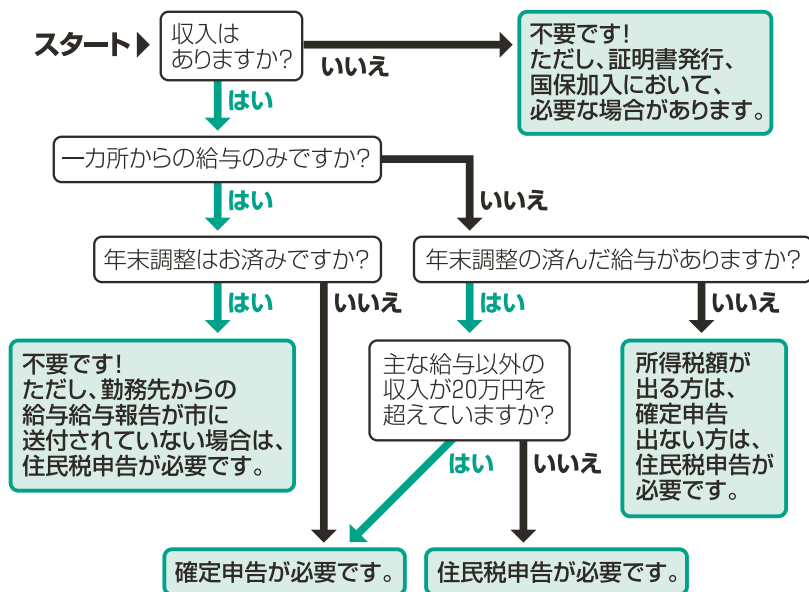
確定申告、住民税申告が始まります

申告の受付は2月16日～3月15日です

市民税課 TEL 0867(42)1114

真庭市では2月16日(木)から3月15日(水)まで、確定申告と住民税申告の納税相談を受け付けます。旧町村ごとに相談会場を設けますが、税制改正や合併などで例年の申告と大きく変わっています。今月は、昨年の申告相談との変更点、また申告をしなければいけない人と、しなくてもいい人は誰かを分かりやすくお知らせします。

〈参考〉あなたに合った申告はどれ？フローチャート
[主な収入が給与の場合]



確定申告と住民税申告があります
所得税や市民税・県民税を正しく計算するためには、本人の収入を正しく申告していただかなければなりません。この収入の申告には、確定申告と住民税申告の2種類があります。

確定申告は、所得税を清算するための申告です。医療費控除などによる還付申告も確定申告の一つです。これに対して、確定申告の必要はないけれども、市民税・県民税の計算をするために行う申告を住民税申告といいます。

申告内容で税額が大きく変わります
所得税や市民税・県民税の税額は、その年中の所得と申告の内容により大きく変わります。所得税、市民税・県民税の所得割は、所得の金額全額に対してかかるのではありません。所得額から、基礎控除や配偶者控除、扶養控除などの各種の所得控除を差し引いた、残りの所得額に対してかかることになっています。

このような各種控除を受けるためには、申告が必要となります。来年度の各税金の基礎となる自分の所得をきちんと把握することは、節税にもつながります。所得のある方は、申告されることをお勧めします。

申告の必要な人

確定申告の必要な人

- ①所得に給与を含まない人
(事業・農業所得、不動産所得など)
- ②給与所得のある人で、年末調整を受けていない人
- ③給与所得のある人で、年末調整を受けているが、その他に年末調整を受けていない給与や給与以外の所得の合計が20万円を超える人

確定申告の必要はないが、住民税申告が必要な人

- ①所得はあるが、所得税の確定申告をしていない人（ただし、所得が給与のみで年末調整が済んでいる人、公的年金収入のみで各種所得控除を受けない人は除く）
 - ②所得がなく、どなたの扶養親族にもなっていない人
 - ③所得がなく、市外の方の扶養親族になっている人
 - ④所得がなく、国民健康保険加入者や加入者のいる世帯主
- ※②、③の人は、申告の義務はありませんが、所得証明などを発行する場合、必要となります。

※所得税の確定申告をした人は、住民税申告をしたことになります。
不明な点は市民税課まで問い合わせください。

申告相談

ホームページで 確定申告書が作成可能

ホームページで確定申告の書類などを簡単に作成する方法があります。どうぞご利用ください。

■国税庁ホームページ
<http://www.nta.go.jp>

国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」では、画面に基づき収入金額などの必要事項を入力することにより、所得税や消費税の申告書などを作成することができます。

■タックスアンサー
ホームページ
<http://www.taxanswer.nta.go.jp>

医療費控除や住宅借入金（取得）等特別控除など、各種の税金に関する情報を提供しています。

ここが変わっています申告納税相談

地区	申告会場	申告受付日数	注意点
北房地区	前年に同じ	前年に同じ	不動産所得の経費は自分で計算してください。
落合地区	会場数減		
久世地区	会場変更あり		農業の償却資産（農機具など）の申告書は事前に送付していません。直接申告会場で申告してください。不動産所得の経費は自分で計算してください。
勝山地区	会場変更あり	受付日数の減	不動産所得の経費は自分で計算してください。
美甘地区	前年に同じ		
湯原地区	前年に同じ		
中和地区	前年に同じ		農業概況調査及び農業の償却資産（農機具など）の申告書は事前に送付していません。直接申告会場で申告してください。
八束地区	会場変更あり		農業の償却資産（農機具など）の申告書は事前に送付していません。直接申告会場で申告してください。
川上地区	前年に同じ		

※合併による変更点が多くありますので、ご注意ください。

65歳以上の人は、申告で節税できます。所得税、市民税・県民税の所得割は、所得額が控除額を上回ると課税されません。65歳以上の人には、税制改正により老年者控除（50万円）が廃止されました。年金で、すでに所得税が差し引かれている場合、医療費控除や生命保険・損害保険料控除などの申告により、還付の可能性があります。また、納税になる場合でも各種控除の申告により、納めるべき税額を減らすことができます。

日程表にはもっと詳しく載っています。今年度の申告納税相談については『平成18年度住民税申告相談日程表』に詳しく掲載していますので、必ず内容の確認をお願いします。各種控除の内容、申告の手続きに必要な書類なども掲載しています。

都合に合わせてどこの会場でも申告受付できますが、会場が混雑し、お待ちいただくこととなりますので、なるべく該当日に指定の会場をご利用ください。

農業所得者は収支計算が原則

農業所得の申告は、収支計算が原則です。収支計算を行うと、自分の経営状態が把握できるとともに、損失の出た年には、その損失を給与など他の所得から差し引いて総所得を計算することができます。



「そろそろ申告の準備をせんとなあ」花作りに励む西山広視さん（木山）

○収支計算をするためには

農業所得に関係する、伝票（出荷伝票）や領収書を保存し、集計することが必要です。伝票などの紛失や、集計漏れを避けるためにも、帳簿などへ記帳することをお勧めします。各支局窓口に入金金額や必要経費を記録する用紙を用意していますので、ご利用ください。

○収支計算書（収支内訳書）の作成について

伝票などを項目ごとに分けて、その集計を計算して会場にお越しください。会場の混雑を避けるため、職員による収支計算はできません。

○申告に必要なもの

- ・収支計算書（収支内訳書）
- ・各種伝票
- ・領収書など
- ・販売証明書（新しく農機具などを買われた場合）
- ・肉用牛の販売証明書（肉用牛を売却している場合）

パネラーの皆さんの提言

環境から

環境と共生する地域づくり
キーワードは「里山」



大月隆行さん
ランデス㈱代表取締役

会社経営のかたわら早稲田大学などで社会環境工学講師をつとめる。自然環境・自然景観に配慮した製品開発など新たな産業創出と雇用の場確保に取り組む。自然と共生したまちづくり、循環型社会システム形成を目指し活躍中。NPO21世紀の真庭塾副塾長。

■発言要旨

会社は環境保全型製品の開発を進め20種類を超えるようになったが、開発は地元漁協からの要望で作った生態系保全型ブロックが始まり。自然と人が共生した生き方が育まれた真庭に立地していたから開発ができたと思っている。21世紀の真庭塾で企業という立場で真庭への貢献を考えてきたが、環境と産業は対立するものではなく、本来は調和するもの。キーワードは「里山」。自然をとりつくさず相手（自然環境）を思いやる調和の中に、市民・行政・企業がともに価値を見だし、賑わいにつながる環境づくりで、地域の将来をつくりだすことも大事。

健康から

地域一丸となり子どもたちへの「食育」推進を



澤山祥子さん
真庭市栄養改善協議会副会長

旧落合町栄養改善協議会委員として通算9年間在任し、地域活動に尽力。市誕生後は市栄養協副会長として活躍中。栄養委員として健康の基礎といえる「食」の大切さを訴える。また、エコバックの活用など、環境にやさしい生活の啓発にも取り組む。

■発言要旨

健康であることが一番安心できること。特に将来を担う子どもが、健やかに育つことが大切。栄養改善協議会では、これまでの啓発活動を通し、健康の基礎である「食」の重要性を訴えてきた。小中高校生の多くに朝食の欠食が多いことを危惧しており、家庭・地域・学校・企業が連携し「食育活動」をさらに推進し、「安らぎ」につなげることを提案したい。地域一丸で健康を守るため、朝食条例を制定している自治体もある。市にも提案したい。生活習慣病予防のためにはウォーキング、心の健康のためには笑うことも重要。1日に10回以上笑うことを勧めている。

みんなで 「杜市の安らぎ」 を考えよう

賑わいと安らぎの杜の都
「真庭」の創造に向けて

策定中の真庭市総合計画。この総合計画の最も大きなテーマは、真庭市に「賑わい」と「安らぎ」をもたらすことです。11月26日、久世エスパスホールで開催された第2回シンポジウムでは「安らぎ」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、真庭市総合計画審議会委員で、美作大学学長の目瀬守男氏の進行で4名のパネリストが、それぞれの立場から「安らぎ」づくりを提言。この提言に対して井手紘一郎真庭市長、小林彬二岡山県美作県民局長が、それぞれコメントを寄せました。パネリストの皆さんのコメント要旨をご紹介します。

第2回真庭市総合計画策定シンポジウム





シンポジウムは、第1部を福祉大会として開催。引き続き「安らぎ」をテーマにしたシンポジウムが行われました。

パネラーの皆さんの提言

子育てから

子育て支援に 市独自の政策を



山下紀子さん
子育て応援隊代表

鹿児島大学医学部助手（医学博士）として勤務の後、蒜山へ。平成16年から子育てボランティア団体「子育て応援隊」代表として蒜山地域を対象に「子育てサロン」を開催。子育て現役の母親を中心に子育て支援活動を展開中。自身も2児の母親。

■発言要旨

障害者・高齢者・子どもたち、社会的弱者に笑顔がある杜市づくりが必要。真庭には全国平均より高い出生率が保たれている。この環境を維持するために市独自の政策が必要。子どもたちが地域の方とたくさんふれあい、さまざまな経験と元気で自由な人生の選択ができる真庭市になってもらいたい。市への期待として①安らぎを1番大切に②若者と女性の立場の充実③子育て支援の充実を。子育て支援充実では、教育費負担減、子どものいる3世代同居世帯への経済的支援、子育て支援環境（小児・産婦人科・保育サービス）などの充実の整備を提言したい。

福祉から

高齢者・障害者が経済活動 に参画できる社会づくりを



原 一行さん
NPO「こうけん」事務局長

知的障害者更正施設「コスモスの園」事務局長。県内法人としては初認定の「成年後見制度」を行うNPO法人設立に尽力。制度は認知症高齢者や身体・知的・精神に障害を持ち判断能力が十分でない方の身上監護や財産を、後見人が、管理し保護する制度。

■発言要旨

増加する元気な高齢者、障害者が就労で社会参加できる環境づくりが必要になってくる。障害者自立支援法が成立し、障害者の特性にあった社会参加、個々の能力にあった社会経済への参画が求められている。福祉的就労の場合、就労支援事業を活用し、一般企業への就労を促進し、市の障害者法的雇用率1.8%を達成することも必要と考える。障害者・高齢者が社会参画できる仕組みづくりと同時に、人権を擁護することが必要になる。虐待防止法も整備されるが、成年後見制度で、人権を擁護し、行政が成年後見制度の利用促進を進めることも必要と思う。

杜^{もり}の絵画寄贈受けました

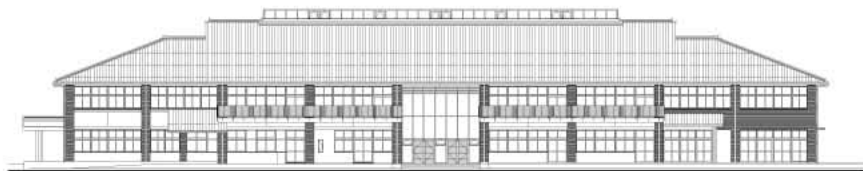
第2回シンポジウムでは、京都市在住の洋画家、田中直子さんからの絵画寄贈セレモニーも併せて行われました。田中さんは、真庭市が目指す杜との共生「杜の都づくり」に深く共感。樹木や森を題材に田中さんが、これまで描いてきた絵画のうち18点を真庭市に寄贈されました。絵画は、すべてが畳2畳分を超えるような大作ばかり。市では、12月10日まで旧遷喬尋常小学校で「田中直子作品展」として展示し、多くの市民の皆さんが観賞に訪れました。



田中さんと杜を題材にした大作絵画



西側立面図



南側立面図

北房中学校改築へ

市誕生後4校目の新改築



多目的スペースも 誕生します

真庭市立北房中学校
山崎 和光 校長

「自学・自啓・自律」。この校訓のもと、北房中学校旧校舎からは、37年の間に4,230人の卒業生が旅立って行きました。

新校舎は来年度に完成する予定ですが、職員も設計協議に参加し、旧校舎の反省点を踏まえた結果、旧校舎とは構造上で大きく異なることになりました。新しい校舎では教室は校舎の南側と北側に配置され、中央部は1、2階が吹き抜けの採光部を持つ幅広い廊下と階段になります。また、1階廊下突き当たりには、生徒たちがミニ集会を行うことが可能な広さを持つ多目的スペースも誕生します。

生徒たちも、校舎完成を楽しみに待っているものと思います。

12月2日、真庭市立北房中学校新改築工事の起工式が、真庭市、真庭市教育委員会、地元建設推進委員会などの関係者約50人が参加して、同中学校建設予定地（上水田）で行われました。

改築する同校校舎は老朽化のために旧北房町時代に計画し、市が事業を引き継ぎました。昭和43年建築の校舎に代わる新校舎は、鉄筋コンク

リート造り2階建て、普通教室が6教室、特別教室が6教室など、延べ床面積は2,696.26平方メートルとなり、総工費は7億1,279万円（仮設校舎建築工事・設計管理費含む）となります。現在、北房中学校生徒184人は、グラウンドに建てられた仮設校舎に移動。平成18年6月の完成を待ち望みながら学習を続けています。

真庭市青少年育成センター・真庭市教育委員会から

児童生徒の登下校中の安全確保にご協力を



このステッカーで防犯パトロールにご協力いただいています

守ってください
子どもたちの笑顔

連続して小学生が被害者となる事件が発生しています。真庭市内においても複数の不審者情報が寄せられており、真庭市青少年育成センターでは、市PTA連合会や、各組織のご協力を得て、パトロールを強化しています。

併せて、市内の事業所や商店、また一般市民の皆さんにも「防犯パトロールステッカー」を車両に張っていただき、普段の生活の中で、子どもたちを見守っていただく活動を進めています。

集団下校やスクールバスの交通機関を利用する子どもたちも、自宅付近にたどり着くころには一人になつてしまう場合もあります。

取り組みには継続が必要です。真庭市全域で子どもたちを見守る運動に、ご協力をお願いします。



一番の頼りになるのは
地域のチカラ



市政に関する動きの一部を紹介します

と 杜市の都市計画審議会発足

11月25日、真庭市の都市機能の発展を見据え、土地利用、施設整備や開発事業を審議する委員会が発足。第1回委員会では、市民代表委員4名を含めた16人に委嘱状が手渡されました。



少子化歯止めは結婚推進から

11月29日、「まにわ縁結び推進委員会」が発足。委員17名が委嘱されました。委員会は市が公募した「まにわ縁結び応援団」とともに、未婚男性・女性の出会いの場提供などを進めます。



市全域を見据えた防災計画づくり

12月1日、「真庭市防災会議」が発足。旧町村別で存在した地域防災計画を統一し、真庭市域に合わせた地域防災計画づくりがスタートしました。(写真は真庭消防署通信指令室)



有機資源産業を興隆し市活性化を

12月6日、市バイオマス利活用計画策定委員会が事業者・大学教授・市職員など30人で発足。木質系資源を中心に産業化への取り組みが進む市内。市活性化起爆剤とすることを協議していきます。



歩車分離信号 市内初めての設置

12月8日、蒜山上福田の交差点に歩車分離信号を設置。歩行者用の信号が青の場合、車用はすべて赤になり、全方向の横断歩道を渡れる分離信号。利用方法を地元の方、小学生が学びました。



記念すべき
第1回講演会は
丸山和也弁護士

法に魂 細胞で考える法律

第1回 真庭市人権教育講演会

人権週間中の12月4日、人権意識の向上を訴える「真庭市人権教育講演会」が勝山文化センターで開催されました。真庭市・真庭市人権教育推進委員会としては初開催の講演会には、テレビでもおなじみの丸山和也弁護士が登場し「法に魂 細胞で考える法律」と題し講演。

講演では、最近メディアで取り上げられている耐震構造計算偽造問題や、アメリカが訴訟社会化する要因の一つとなった裁判事例の問題点を、聴衆に問いかけながら指摘しました。また、この日の会場は、整理券を求めて入場した市民約700人で満席。ユーモアを交える中にも要所所で法律の裏側を指摘する丸山弁護士の講演に皆さんは聞き入っていました。

叙勲おめでとうございます(防衛功労)

自衛隊員として、多年にわたり務められた市内のお二人が叙勲の栄を受けられました。

瑞宝単光章



池田精一さん
(蒜山下和)

昭和38年に入隊し、昭和44年から除隊する平成10年までの29年間、静岡県御殿場市にある滝ヶ原駐屯地で普通科教導連隊として所属。

瑞宝単光章



河原節夫さん
(下中津井)

昭和43年に入隊し、平成10年に除隊するまで自衛隊車両整備一筋で務められました。阪神淡路大震災復旧活動に業務隊として従事。



成人おめでとうございます

真庭市成人式

真庭市成人式を1月8日(日)に勝山文化センターで行います。受付は午前11時30分からで、午後12時30分に開会します。成人者には吉本若手漫才をプレゼントします。式終了後、思いっきり笑ってください。生涯学習課

雪は友達

かまくら作りと雪遊び

津黒いきものふれあいの里には雪がいつぱいです。かまくら作り、雪合戦、そり遊びなど雪国を満喫しましょう。

日時 1月28日(土) 午前10時～
場所 津黒いきものふれあいの里(蒜山下和)

※雪遊びのできる服装で、そりがあればお持ちください。参加は無料です。

問い合わせ先 ささゆり館
TEL 0867(67)7011

真庭市の人口

総数 53,847人(-14)
男 25,702人(-25)
女 28,145人(+11)
世帯数 17,432世帯(+22)

平成17年12月1日現在
()は前月との比較

代表電話番号

真庭市役所本庁舎

(勝山支局)

0867-44-2611

久世庁舎(久世支局)

0867-42-1111

落合庁舎(落合支局)

0867-52-1111

北房支局

0866-52-2111

美甘支局

0867-56-2611

湯原支局

0867-62-2011

中和支局

0867-67-2111

蒜山振興局

八束庁舎(八束支局)

0867-66-2511

川上庁舎(川上支局)

0867-66-3611

真庭市消防本部

0867-42-1190

みんなで参加しよう

冬の全国星空継続観察

全国星空継続観察は、星空を観察するという身近な方法によって、大気の状況や光害のひとつである夜空が明るくなる現象について多くの人に考えてもらうことを目的としています。昭和63年度から環境省が全国の地方公共団体、学校、市民グループなどと呼びかけ、年2回(夏・冬)実施しています。

テーマは「子育てと食文化」

第28回女性のつどい

勝山女性団体連絡協議会が、女性のつどいを開催します。民

日時 1月21日(土) 午後7時～
場所 産業学習館(やまびこスタジアム北隣)
講師 河野貞夫さん
持参物 懐中電灯・双眼鏡
問い合わせ・申し込み先
環境課 TEL 0867(42)1113

地域づくり人材養成講座 公開講演

テーマ

子育て

岡山県内で、子育て支援の先駆的活動を実践している、お2人の話が聞けます。

※託児サービスをご希望の方は、ご連絡ください。

講演

「子どもは地域の宝」

チャイルドライン岡山代表

西崎 宏美さん

「子どもを守り育む地域づくり」

NPO法人子ども達の環境を考える

「ひこうせん」代表理事

赤迫康代さん

日時 1月22日(日) 10:00～

場所 落合公民館

問い合わせ先 自治振興課

TEL 0867-44-2683

親睦を深めましょう

真庭市誕生記念囲碁大会

囲碁サロン友の会(勝山)では新春の囲碁大会を開催します。市内の方ならどなたでも参加可能。親睦を深めましょう。

日時 1月15日(日) 受付午前9時30分～

場所 勝山文化センター

試合内容 A、Bクラス 5局

参加費 一般2000円 女性

・学生1500円(軽食有)

申込締切 1月10日(火)

申し込み先 勝山文化センター

TEL 0867(44)2011

新しい年は笑いでスタート 1月8日(日) 開演17:00 勝山文化センター

よしもと新春爆笑ライブ

大木こだま・ひびき ビッキーズ 矢野・兵動 ランディーズ NON STYLE 千鳥 イシバシハザマ

■チケット:前売2,000円 当日2,500円 ■主催:「よしもと新春爆笑ライブ」実行委員会・真庭市

■問い合わせ先:勝山文化センター TEL 0867-44-2011(出演者は変更する場合があります)

笑わせまっせ〜

18th

無火災まちづくり

駅伝大会

前略 走ることが防火予防につながる駅伝大会をご存じですか。無火災の願いをこめた、たすきのリレーは地域の防火意識を高めます。ぜひ、皆さんの参加をお待ちしています。空気が乾燥する季節、火の取り扱いには十分お気を付けてください。 真庭市久世消防団より

コース 久世市街地9.8^キを1チーム7人のたすきリレーで走ります

日時 3月5日(日)

受付9:30~10:20

開会式11:00~

スタート11:40~(順次)

開会式会場 遷喬小学校グラウンド

種別 小学生男子、同女子、中学生男子、同女子、一般男子、同女子、真庭市久世消防団、招待消防団の8つの部門

1チーム7人 参加費無料

申込方法 1月31日(木)までに、参加申込書を久世支局総務課まで提出
※申込書は、市役所窓口にて用意しています。

主催 真庭市久世消防団

問い合わせ先 久世支局総務課

TEL0867-42-1111 FAX0867-42-1034



無火災の願いをこめた、たすきリレー

昔ながらの遊びを楽しもう
かるたとり大会

伝統的な遊びである「かるた」をみんなで楽しみませんか。市内で行われるかるたとり大会を紹介します。

①新春かるた大会

日時 1月14日(土) 午後1時30分

分

場所 くせ活き生きサロン

対象 幼児・小学生

②くせ活き生きサロン

TEL 0867(42)2320

②つくしの会かるたとり

日時 1月26日(木) 午前10時30分

分

場所 中和保健センターあじさい

対象 小学校就学前の親子

③保健センターあじさい

TEL 0867(67)7770

手作り豆腐にチャレンジ
クリエイト菅谷イベント

親子で豆腐作りを体験してみませんか。美甘地内で採れた大豆を使って、手作りの紅白豆腐を作ります。

日時 1月15日(日) 午前10時

場所 クリエイト菅谷

参加費 一般1000円 小学生以下500円

問い合わせ先 クリエイト菅谷

TEL 0867(56)2044

心も体も軽やかに

久世新春ロードレース

ロードレースに参加して、気持ちのよい汗をかきませんか。当日受付で参加できます。

日時 1月15日(日) 受付9時

スタート午前10時

受付場所 久世公民館

コース 小学生2^キ、中学生以上2、4、6^キ選択

※小雨・小雪は決行します。

問い合わせ先 久世支局地域振興課 TEL 0867(42)1116

当日エントリーで参加可能

市内のスキー大会

当日エントリーで参加できるスキー大会をお知らせします。

①友金杯スキー大会(ナイター)

日時 1月26日(木) 受付午後5時

時6時 スタート午後7時

場所 ひるぜんべアバレースキー場(蒜山本茅部)

②蒜山スキークラブ

TEL 0867(66)4229

③津黒高原GSL大会

日時 2月4日(土) 受付午前9時

時9時30分 スタート午前10時

場所 津黒高原スキー場(蒜山下和)

④津黒高原スキー場

TEL 0867(67)2550

蒜山を学ぼう

蒜山学講座

蒜山学講座を開きます。1月は「蒜山のこたわぎ」です。知っているようで知らなかった蒜山のあれこれ、あなたも学んでみませんか。

日時 1月22日(日)

午前10時

場所 蒜山郷土博物館

受講料 2000円

問い合わせ先 教育委員会蒜山分室 TEL 0867(66)2513

北房ぶり市 2/5(日) 10:00~ 皆部商店街

代官の奥方役募集

はがき・電話で応募
応募締切 1/13(金)

■応募先 北房町商工会 〒716-1433
真庭市下皆部244-17 TEL0866-52-2711
※住所・氏名・年齢・電話番号を明記
■面接 1/15(日) 13:00~ 北房支局



写真中央が代官の奥方



休日急患担当医

1日

- 金田病院・落合 0867-52-1191
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221

2日

- 勝山病院・勝山 0867-44-3161
- 落合病院・落合 0867-52-1133

3日

- 中山病院・久世 0867-42-0371
- 近藤病院・勝山 0867-44-2671

8日

- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221
- イケヤ医院(内)・久世 0867-42-0122
- さくもとクリニック(外)・北房 0866-52-4833

9日

- 河本病院・落合 0867-55-2121
- 谷田医院(外)・八束 0867-66-3616

15日

- 勝山病院・勝山 0867-44-3161
- 杉山医院(内)・久世 0867-42-5012
- 廣恵医院(内)・北房 0866-52-2403

22日

- 金田病院・落合 0867-52-1191
- 中井医院(内)・勝山 0867-44-4848

29日

- 近藤病院・勝山 0867-44-2671
- まにわクリニック(外)・久世 0867-42-7300
- 廣恵医院(内)・北房 0866-52-2403

1月の記念日・節気

- | | |
|-----|------|
| 1日 | 元日 |
| 5日 | 小寒 |
| 7日 | 七草 |
| 9日 | 成人の日 |
| 11日 | 鏡開き |
| 20日 | 大寒 |

ご利用ください

手話通訳窓口を設置

1月から落合庁舎福祉課内に手話通訳窓口を設置します。手話通訳を必要とされる方は、手話通訳者が案内、相談の受付をしますのでご利用ください。

問い合わせ先 福祉課
TEL 0867(52)1112

脳を刺激し、活性化します

北房地区生涯学習講演会

楽しい思いや前向きな気持ちは、脳を刺激し活性化させます。浜松医科大学の高田明和教授を招き「脳は若返る」と題して、新春講演会を開催します。脳年齢と一緒に若返らせましょう。

日時 1月15日(日) 午後1時30分～ 入場無料

場所 北房文化センター
問い合わせ先 北房支局地域振興課

TEL 0866(52)2112

全国共通の電話相談

ねんきんダイヤル

全国共通の年金に関する電話相談、「ねんきんダイヤル」を実施しています。料金は市内通話料金で利用できます。年金のことで不明な点をご相談ください。

● 年金請求など年金相談

TEL 0570(05)1165

● すでに年金を受けている方の年金相談

TEL 0570(07)1165

無料で相談・秘密は厳守

特設人権相談所

家庭内、近隣間の問題など、人権相談員が無料で相談に応じます。秘密は固く守られます。

・ 勝山保健福祉センター 1月6日(金)、20日(金) 午前9時～正午

・ 久世保健福祉会館 1月25日(水) 午前9時～正午

・ 落合公民館 1月5日(木)、19日(木) 午前10時～午後3時

至道高校 閉校記念懇親会

56年の歴史を閉じる至道高校。閉校記念懇談会「思い出を語る会」で最後を飾ります。校友会員の皆さん、お集まりください。



開催日
3月4日(土)
13:00～

場所
至道高校武道場

申し込み先
至道高校
〒716-1433
真庭市
下皆部289
TEL 0866-52-2211
FAX 0866-52-3135

新入寮生募集

岡山県育英会東京寮

岡山県育英会では、平成18年度の育英会東京寮の寮生を募集します。自主的な共同生活の中で学業に励んでください。

定員 約30名

資格 県内に在住し、平成18年4月に東京都およびその周辺に所在する大学(夜間を含む)の第1年次生として入学する男子学生

申込期間 2月1日(水)～28日(火)
※書類および面接選考(3月中旬に予定)にて決定します。

問い合わせ先 県教育庁生涯学習課

申請お忘れなく

農業委員会選挙人名簿登載

農業委員会委員選挙人名簿は、毎年1月1日現在で、選挙資格のある方の申請に基づいて作成しています。申請書の提出がないと選挙権がなくなり、提出期限は1月10日(火)です。農業連絡員を通して提出をお願いします。

選挙資格を有する方の条件

①平成18年1月1日現在、真庭市に住所を有する方

②年齢が満20歳以上(平成18年3月31日現在)の方

③10⁷(一反)以上の農地につき耕作の業務を営む方、もしくはその同居の親族または配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事している方

問い合わせ先 真庭市農業委員会

TEL 0867(42)1676

ESPACE INFORMATION

久世エスパス
〒719-3214
真庭市鍋屋17-1
TEL0867-42-7000
価格はすべて税込です

- 新春シネエスパ「タッチ」(10:00) 完全入替制
- 新春シネエスパ「ALWAYS三丁目の夕日」(14:00)
平成18年1月3日(火) 全席自由 エスパスホール
一般前売1,300円 高校生以下前売800円 当日200円増

- PASSION FLUTE～彩～AYA～New Year Live
平成18年1月14日(土) 開演19:00 全席自由
エスパスホワイエ 整理券2,000円(ドリンク付き)
出演:吾郷晶子(FI)、小林茂文(D)ほか
曲目/スペイン、リベルタンゴ、情熱大陸ほか

- KHK歌謡祭～出演者募集 公開録画/入場無料
平成18年1月29日(日) 開演10:00 エスパスホール
募集組数:50組 参加費:1人500円(ドリンク付き)
募集締切:平成18年1月13日(金)

- 茂山狂言会
平成18年1月31日(火) 開演19:00 全席自由
エスパスホール 入場料3,000円
番組:蝸牛(かぎゅう)、棒縛り(ぼうしばり)
出演:茂山千五郎、茂山正邦、茂山宗彦、茂山茂ほか

- エスパス・フリーマーケット出店者募集
平成18年2月5日(日) 開始10:00 締切:2月2日(木)

- 武藤晶子ピアノトリオ・ジャズライブ
平成18年2月10日(金) 開演19:00
エスパスホワイエ 全席自由 入場料2,000円
出演:武藤晶子(P)、山口彰(D)、菅原光則(B)
曲目:A列車で行こう、テイク・ファイブほか
入場券発売:平成18年1月8日(日)10時

- 金子竜太郎(鼓童)・和太鼓ワークショップ
平成18年2月12日(日) 開始10:00 エスパスホール
募集人数:先着15名 対象:和太鼓経験のある方
参加費:8,000円 募集開始:平成18年1月8日(日)10時

- シネエスパ「ハリー・ポッターと炎のゴブレット」
2回上映(10:30/14:00) 完全入替制
平成18年2月19日(日) 全席自由 エスパスホール
一般前売1,300円 高校生以下前売800円 当日200円増
入場券発売:平成18年1月8日(日)10時

- 民謡北前船～唄で日本海を旅してみませんか
平成18年2月26日(日) 開演14:00 エスパスホール
全席自由 一般3,000円 高校生以下1,000円
当日500円増
出演:福士あきみ(唄)、岩佐由美子(唄)
黒石八郎(漫芸)、岩佐菊正(踊り)ほか
入場券発売:平成18年1月8日(日)10時

至急ご連絡ください
ナショナル石油温風機使用の方

1985年～1992年製のナショナルFF式石油温風機および石油フラットラジアンヒーター(製品背面に給排気筒が設置)は、事故の危険性があります。該当製品を未点検のまま使用すると一酸化炭素を含む排気ガスが室内に漏れ出し、場合によっては死亡事故に至るおそれがあります。ご使用の方は、直ちに使用をやめ、フリーダイヤル0120(872)773までご連絡ください。

子どもの相談受け付けます
津山児童相談所が巡回相談

津山児童相談所が巡回相談を開きます。お子さんのことで悩んでいる方は、気軽に相談ください。
日時 1月10日(火) 午後10時～午後3時
場所 落合公民館
内容 18歳未満のお子さんに関する、知的障害者の福祉に関すること
※予約が必要です。
問い合わせ先 子育て支援課
TEL0867(52)1115

かけ忘れていませんか
自賠責保険・共済

自賠責保険・共済は、万一の交通事故のとき、基本的な対人賠償を目的として、原動機付自転車を含むすべての自動車に加入が義務づけられている保険・共済です。加入しないで運転すると、1年以下の懲役または50万円以下の罰金という重い罪が課せられます。250cc以下のバイクなどは車検制度がないので、期限切れ、かけ忘れにご注意ください。
国土交通省中国運輸局

自分で取ろうとしないで!
たこが電線に引っかかった場合

楽しい「たこあげ」も電線の近くの狭いところであると、電線にかかることがあります。電線にかかったたこを自分で取ろうとして、痛ましい感電事故を起こすこともあります。もし、たこが電線に引っかかったら、必ずお近くの中国電力まで連絡してください。
問い合わせ先 中国電力(株)津山営業所 TEL0120(410)254 同高梁営業所 TEL0120(413)823

警察への緊急通報手段です
110番通報

110番は緊急の事件や事故のみ使用していただく、警察への緊急通報手段です。苦情や相談などは「#9110」とダイヤルしてください。真庭警察署

報告します
自治宝くじ助成事業

コミュニティ助成事業で、若代・下岩コミュニティ協議会へ仮説ステージ・テント・サウンドシステム・物品格納庫一式が寄贈されました。



ホウレンソウを収穫する中野積男、まり子さんご夫妻(余野上)
付加価値を高めるため、特別栽培農産物表示ガイドライン(※1)に沿った農業に励む
※1 農薬や化学肥料の使用を制限して栽培された農作物における、生産や表示の一定基準

真庭市の農業を強くする

agriculture

広大な真庭市。市内ではその大きさを生かし、さまざまな農業が展開されており、さらなる発展が期待されています。しかし、一方では農業をとりまく状況は厳しく、将来的にも多くの課題を抱えています。市では農業振興について次のように考えています。皆さんも一緒に農業について考えてみませんか。

農業振興課
TEL 0867 (42) 1031

農業の現状

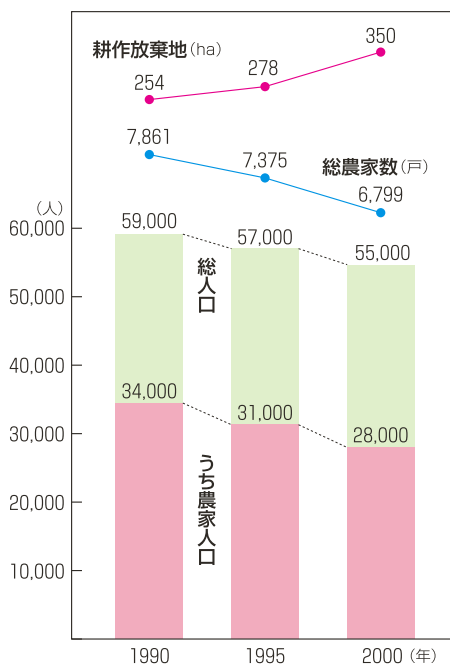
広大な真庭市では、北は蒜山地域の酪農製品やダイコン、南部ではナシやブドウ、このほかにもさまざまな地区で、多彩な農産物が生産されています。ところが、その一方で図-1のように農家戸数は年々減少の一途をたどっています。少子高齢化や後継者不足から、比較的小規模

模農家が多く耕作条件のよい中山間地域で、耕作放棄地・遊休農地が増えつつあります。

どうする？真庭市

こうした現状を改善するには、各地区の特色を活かしつつ、農業振興へ向けた取組を地域みんなで進める必要があります。

図-1 真庭市農業の移り変わり



各年農業センサスより、旧町村のデータを合算して作成

【農地の保全】

農地の現地調査を行い、遊休農地・耕作放棄地を具体的に把握することで、より適切な対策を引き出します。現在、市内約190地区で「中山間地域等直接支払制度」による集落協定が結ばれています。協定地域以外にも、複数の農家が作業を分担し効率的な農業運営を目指す「集落営農」組織の結成や、担い手への農地の集積、中山間地域での小規模・多品種の栽培などの地道な取り組みが、農地の保全につながっていきます。

【担い手の育成】

地域で「担い手」を育て、「認定農業者」、「集落営農組織」などに農地を集積することで農業経営の競争力を高めることができます。真庭市では、地域の「担



昨年から、米作りをやめた田。でもいつかは米作りを復活したい、田を荒らしたくないと大きな草だけでも抜く作業をする(見尾地内)

一人でも多くの人に農業へ意欲を持ってもらいたい

い手」、特に新規就農者の育成支援に向けた第一歩として「真庭いきいき帰農塾」を開講しました。今年度は市内から30名を超える応募があり、果樹・野菜・花きの各コースに分かれ栽培技術などの習得に向けて講座を行っています。また県外からの研修者3名が、県・市共同の助成事業により、市内での就農に向け野菜・果樹の栽培に取り組んでいます。

【農業体験・イベントの実施】

地域の特色を生かした農業体験・交流イベントが市内各地で行われています。例えば「富原お茶祭り」ではバスツアーが組

まれ、茶摘み体験。また大阪府豊中市の皆さんと地元農家が農業体験での相互交流、そして各地で行われている朝市などです。都市住民の皆さんは、のどかな農村の風景を感じ、素朴な人情に触れ、農村の新鮮な農作物を手にするという付加価値に関心が高いようです。今後は地域で都市住民との交流などを積極的に行い、自慢できる地域農業を目指すことも大切です。

【真庭ブランドの確立】

真庭市内には、地域ごとに特



野菜を収穫するツアーの参加者

色ある農作物・特産品がたくさんあります。その中でも「蒜山ブランド」は県内外で高い知名度を誇ります。

真庭市では、蒜山をはじめ各地域の特色を生かした「真庭ブランド」づくりの取り組みに対し、農業基盤の整備をはじめ販売力向上など、生産から販売まで総合的に支援していきます。

真庭市の農業のこれから

真庭市の農業の現状と課題、解決の糸口を探ると、これからの農業には地域が主体となった取り組みが、今以上に重要になります。

市は「アグリセールスマン（仮

称、真庭市営農推進員）制度」

による地域支援を考えています。この制度は、地域に密着した活動を通じた農業の振興を目的としています。募集（来年度を予定）により選考、委託し、主に次の仕事に携わります。

- ① 遊休農地の調査
- ② 農業体験の指導
- ③ 交流イベントへの参加
- ④ 地域特産品のPR活動

真庭市は農業者による農業者のための農業振興を目指し、支援していきます。

第2の人生の生きがいを農業で



北 豊寿さん
富尾

いきいき帰農塾に参加しています。団塊世代のわたしにとって、農業を第2の人生の生きがい・健康づくりにつなげていきたいと思っています。農業の経験が少なくとも、これから帰農塾でしっかり学び、本格的な野菜作りに挑戦していきたいと考えています。

地域みんなで農地を守る



真庭農業改良普及センター
岸 浩文さん

これからの農業は、生産コストを下げるために認定農業者や集落営農組織などによる農地の集積が大切です。このことが農地を守ることにもつながり、岡山県も支援を進めています。大切なのは地域の皆さんが自分で考え、取り組んでいくことだと思います。

ブランド確立で地域を元気に



寿園代表取締役
梶岡泰士さん

お茶の栽培から製造販売までをしています。これからの中山間地域では気候風土に合うものを生産し、付加価値を高める農業が必要です。富原地域では都市住民との体験交流ツアーを開催し、お茶のPRや販売につなげようと生産者も元気を出しています。

農 ぎ相談ください、農業のあんなこと、こんなこと。

- 新しく農業を始めようという方や、農地の貸し借りの相談・届け出は、農業振興課（久世庁舎）または、お近くの支局産業建設課まで。

※ 地域の取り組みへの支援に向けた情報収集をしています。地域独自の取り組みや、今後に向けたご意見などがあります。したら情報をお寄せください。

- 農地の取得などの相談・届け出は、農業委員会（TEL 0867(42)1676）またはお近くの支局産業建設課まで。

- 栽培や出荷など生産流通の技術的な相談は、お近くの農業協同組合（JA）または真庭農業改良普及センター（TEL 0867(44)3111）まで。

Q&A 地域自主組織は どうなっているの



真庭市では、少子・高齢化、過疎化などに負けないしっかりとした地域づくりを願って、地域自主組織づくりを提案してきました（広報まにわ17年7月号に掲載）。

また、自治会長や地域役員（各種団体）に集まっていたいただき、9支局がそれぞれに説明会を行うなどして、地域内で議論していただけるように取り組んできました。

今月号では、説明会などでよく出る質問やご意見を掲載し、市民皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

自治振興課 TEL 0867(44)2683

地域自主組織Q&A

地域自主組織の中身は？

Q 地域自主組織をどのような組織にすれば良いのか組織の姿（中身）が見えてこない。また、新しい組織づくりを行うことは、既存の自治会をなくそうとしているのか。

A 地域自主組織は、いくつかの自治会が集まった組織を母体として、さまざまな地域課題を解決していくものです。より広い地域で、年代や性別を超えて、いろんな人が助け合い、地域づくりを進めることを目的としています。自治会を基礎としていますので、自治会をなくそうというものではありません。

また、地域自主組織の中身については、専門部を設けるなど具体的な活動メニューを組み入れることができます。例えば、一人暮らしの高齢者が多い地域ならば、福祉を充実させる福祉部、子どもの安全が不安で



中和紅葉祭（イメージ写真）

あれば、自主防犯に力を入れる総務部、健康づくりなどで運動会などを行う体育部などのように、地域の皆さんが主体的に考えれば、いろんな専門部をつくることができ、地域の特性にあった組織づくりができます。現在、地域内にある各種団体も専門部に加われば、より多くの人を巻き込むことができ、今まで以上の活動もできるのではないのでしょうか。

必要性を感じないが…。

Q 現在、地区の高齢化は進んでいるもののなんとかなっている。地域で自主組織をつくる必要性を感じないのだが。

A 一般論から言えば、少子・高齢化の影響で5～10年先には、人口の大幅な減少が考えられ、今の自治会だけで、同じ活動をするのは難しくなると予測されます。将来にわたって安心安全な地域づくりを、市民皆さんが主体になつて考えていただきたいと思います。

規模はどれくらい？

Q 地域自主組織の枠組みを考えるときに、どのくらいの大きさを想定したら良いのか。

A 基本的には、動きやすく、助け合える規模として、小学校区程度が望ましいと考えています。地域の実情に合わせて、コミュニティ組織の枠、大字組織の枠、または協議して新しい枠組みをつくることも良いと思います。

現在あるコミュニティ組織、大字組織などのまちづくり組織を地域自主組織として移行している地区もあります。大切なのは、無理がなく継続する組織づくりではないでしょうか。

財源の支援はあるのか？

Q 市は、地域自主組織に対する財源的な支援を考えているのか。特に活動に対しては、何らかの補助金がないと進まないのではないのか。

A 現在は、地域自主組織の活動に対して、具体的に支援する補助金などはありませんが、今後に向けて、活動に対する補助金を検討していきます。

地域への補助金は？

Q 各自治会に1戸当たり3千円の補助金が出ているが、今後はどうなるのか、継続されるのか。

A これは、「地域組織育成補助金」として、自治会の地域活動を支援するために3年間を限度として交付しています。平成19年度で補助が終了しますので、この補助金を新しい地域自主組織の立ち上げなどに有効活用していただければと考えています。

地域の要望はどうなる？

Q 地域自主組織をつくらないと地域づくり委員会などに参加できずに、市に対して地域の課題解決に向けての要望や提案をすることができないのか。

A 市では、864にのぼる自治会の声を聞くために、各支局で「地域づくり委員会」を開催し、地域自主組織の代表者に参画していただくことを考えています。

まずは、地域自主組織により、できるだけ地域課題を解決していただき、解決できないことは地域づくり委員会でも共通の課題として、地域と行政が手を携えて取り組んでいきます。さらに、地域づくり委員会で解決できないことは、「市政懇談会（仮称）」で、市長を交えて課題解決を図っていきます。

自治会単位でも、個人でも行政に対して要望、提案はできますが、この新しい仕組みを活用していただきたいと考えています。

地域自主組織

負担が大きくなるのでは？

Q 地域は過疎化が進み、地域自主組織ができれば良いと思うが、新しい組織ができて、活動すべきことが増え、自治会長の負担ばかりが大きくなるのではないのか。

A 地域自主組織には、自治会長だけでなく、地域で活動する各種団体や、委員などの参画が必要と考えています。広い区域で多くの人を巻き込むことが大切です。女性、お年寄りも参画することで、幅広く地域の課題を見つかけられます。いろんな特技を持つ人が関わることで、自治会長への負担も小さくなります。

地域みんなで主体的に取り組める環境づくり、組織づくりを行い、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことが大切ではないでしょうか。



地域自主組織は今。

真

庭市の地域自主組織の現在の状況をお知らせします。

市内の支局ごとに説明会を行い、地域自主組織が少しずつ誕生しています。すでに地域自主組織ができている美甘支局では、12月16日に、真庭市で初めてとなる地域づくり委員会が開催されました。地域自主組織や婦人会の代表者などが出席し、地域課題について話し合いました。各支局では、継続的に説明会を行っています。地域自主組織の枠組みの問題や、地域に内容が十分浸透していないこともあり、組織の立ち上げが進んでいないのが現状です。今後、さらに理解を深め、地域で議論していただけるように、説明会を行ってまいりますので、ご協力をよろしくお願いします。

健康のススメ



高齢者のうつ病

お話

医療法人 井口会
井口欽也 理事長

近

年、高齢社会の到来で老人のさまざまな問題が大きくクローズアップされてきています。その中のひとつに高齢者のうつ病があります。核家族化が進み、高齢者のみの世帯が多くなってきました。このような環境にうつ病を容易に発生させる要因があると思います。

老化には身体的老化と精神的老化があり、どちらが進んでも活気がなくなります。高齢になつていくことは、ともすれば、抑うつ傾向になりやすいといわれています。高齢者のうつ病は極めて頻度の高い病気であり、ある地域住民高齢者に質問形式で行った傾向調査では15%から30%の高齢者に抑うつが認められるという報告があります。高齢者を取り巻く社会、心理的環境が、生物学的老化とともに、高齢者をとすれば抑うつの方向に追いやります。うつ病は心と身体の両面にわたる障害であり、放置したままにしておくと、家族、あるいは社会生活を崩壊させてしまいます。

しかし、基本的に老化は、活力や気力が低下するといったことは無関係です。歳をとつても、なお一層、活力のある生活をしている高齢者はたくさんいます。むしろ、それが一般的ではないかと思えます。老年うつ病を発見して、しかるべき治療を行い、高齢者の活力を保ち、その社会生活を保障することは高齢化社会では極めて重要な問題となっています。



仕事でも趣味でも没頭できるものを持つことは精神の老化を防ぎます

老年期のうつ病の症状は極めて多彩です。基本の症状は活力、気力の低下です。若年層ではみられる、直接、抑うつ感情を訴える人は、高齢者ではむしろ少なくなります。不眠、食欲不振、意欲がわかないというような訴えは一般にみられる症状ですが、頭痛、肩こり、疲れやすいや、また、身体の一部があたかも病気であるように思いこんだりすることがあります。例えば、『なんとなく心臓病であるか勝手に思いこむ』、『不安やいらいらなどの『不定愁訴』、心気的な訴え、また、『口数が減った』、『怒りっぽい』、『笑顔がみられなくなった』、『仕事にも興味がわかなくなった』、『落ち着きがなくなった』、『家の外に出ることが減ってしまった』、『こういうような症状があります。また、時には、幻聴とか被害妄想、認知症のような症状も出てきます。』

「年齢だから仕方がない」ではないのが老年期のうつ

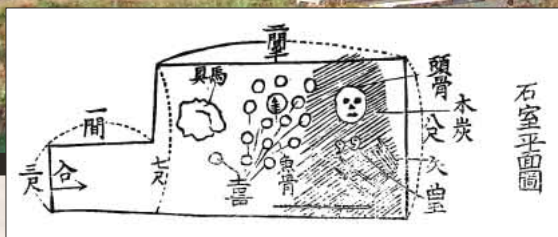
老年期うつ病では、高齢者特有の予備能力の低下、すなわち、体力とか精神力の余裕がなくなってしまうます。予備能力が低下すると自然回復力も低下するために、高齢者は簡単な軽い病気、例えば風邪とか下痢や便秘、打撲、このような意外に軽い病気になつても、これをきっかけにうつ病が発生してきます。

老年期うつ病は、大部分が簡単な治療で完全に治っていく病気でありながら、自分がうつ病にかかっているという自覚がなく、非常に苦しいときもあり、また、長期にわたるときもあります。『年齢のせいだろう』と病気を理解できずに我慢したり、周囲にも理解してもらえないような場合もあります。また、本人が自覚できたとしても、専門病院にはなかなか行きたがらない病気でもあります。

うつ病は、治療を受け症状の改善を体験して、『初めて本当に良かった』と理解できる病気です。病気を放置すると、家庭や社会生活を崩壊する要因になってしまいます。決して不治の病でもなく、また、年齢のせいだけにかかる病気でもありません。また、誰でもかかりますが、必ず直る病気です。最近のうつ病の治療薬は身体に優しく、副作用も少なく飲みやすい薬が開発されています。気力、活力がなくなり、いろいろな身体症状、または精神症状がみられたら、『年齢のせいではかたない』とは考えずに、一度専門医に診てもらってはいかがでしょうか。



maniwa



▲1号墳石室平面図

大正12年刊行の『真庭郡誌』に掲載された発掘時の石室内の様子。頭がい骨は顔料で赤く塗られていたといわれています。



四ツ塚古墳群に関する資料は、蒜山郷土博物館で見学可能

東京都台東区上野・西郷さんの銅像で知られる上野公園には、多数の国立文化施設が集まっています。その1つに日本最大級の博物館、東京国立博物館があります。この収蔵資料数10万点を超える巨大な博物館の一室に、国内一級の考古品と肩を並べて蒜山上長田の四ツ塚古墳群から出土した馬具（金銅張りの飾り板が付いた轡）が展示されています。

大正5年、旧八束村内有志で結成された「郷土誌調査會」が手がけた四ツ塚1号墳の発掘で、馬具は発見されました。大きめの石を積み上げて造った横穴式石室の中からは、この馬具のほかに鉄製の刀や槍、農具、アクセサリといった多数の品が出土しました。それらの大半は翌年、東京国立博物館の前身である東京帝室博物館に下賜金170円で譲り渡されることになりました。当時、米1俵の値段が5〜8円ということから相当な高額といえるでしょう。

真庭市の文化財

3

温故知新

国指定史跡

「四ツ塚古墳群」(蒜山上長田)

1号墳をはじめとして四ツ塚古墳群には今から1500年前ごろに19基の古墳が集中して築かれたと考えられています。直径約20m以上もある大型の古墳を9基を含み、当時限られた人々しか入手できなかった特定の馬具や武器が副葬されるなど、その内容は県内山間部にある古墳群の中でも、ひととき異彩を放っています。破格ともいえる内容の古墳群が、なぜ蒜山に築かれたか。この謎を解き明かす有力な証拠は、残念ながらまだ見つかりません。

現在、古墳群は「四ツ塚史跡公園」として整備され、昭和27年に発掘された13号墳の出土品や復元模型を展示した蒜山郷土博物館とともに歴史学習の場となっています。ぜひ足を運んで、古代蒜山のロマンに触れるとともに、郷土の歴史を解明しようとした先人たちの熱意に思いを馳せてください。

(真庭市教育委員会文化財課)

地域の「宝」守るために

どろと まにわ 真庭 ま ち の 話 題



テレビ局取材の中、午前零時に「砂湯」の栓が抜かれました

11月27日午前零時、湯原温泉露天風呂「砂湯」の湯が掃除以外としては初めて抜かれました。これは、露天風呂周辺で夜間に多発している窃盗などの犯罪が湯原温泉のイメージダウンにもつながりかねないことから、湯原温泉砂湯・河川公園問題委員会が対策の一環として実施したものです。旅館組合・地域住民・警察署で組織する同委員会は、このほか夜間照明強化なども進めており、かけがえない観光資源を守る活動を続けています。

町並みを駆け抜ける

12月11日、「神庭の滝駅伝競走大会（エネルギー文化・スポーツ財団助成事業、同実行委員会主催）」が勝山スポーツセンターをスタート・ゴール地点にして開催されました。今年度はBコース（7キ、小学生の部ほか）に48チーム、Aコース（11キ、中学生男子、一般ほか）に34チームが参加。各5区間をタスキでつなぎました。神庭の滝を目指し、町並み保存地区を駆け抜けるこの駅伝。登り下りの激しい区間もあります。勝山地区の師走の風物詩として15回を数えています。



一斉にスタートする選手



懸命にボールを追いかける子どもたち

スポーツの楽しさ知る

幼稚園から小学3年生までの子どもを対象としたキッズサッカー大会が、11月20日に宮芝グラウンド（久世）で開催されました。このサッカー大会は、子どもたちにスポーツの楽しさを知ってもらいたいと、久世地区の地域おこしグループ「十日会」が毎年開催しているもので、今年で12回目。今年は市内外から66チーム、約800人の選手が参加しました。温かい日差しのもと、懸命にボールを追いかける子どもたちの姿に、会場の保護者の皆さんから大声援が送られていました。

11/19 戦後60年を語り継ぐ

勝山小学校5年生55人が、昭和20年に勝山へ集団疎開した子どもたち描いた劇「遠い雲のひつじ雲」を同校体育館で上演。1時間超にわたる劇で、戦時中の苦悩や悲劇を現在に語り継ぎました。



11/20 いいところの絵画集まる

12月1日まで、勝山文化センターを会場に「勝山・いいところ絵画展」が開催されました。今年は市内外から104作品が参加。最優秀賞に進弘子さん（湯原温泉）の作品（右）が選ばれました。



11/26 ゴルフで親睦を深める

北房英賀公園ミニゴルフ場（上水田）で、真庭市ミニゴルフ交流大会を開催。蒜山地域のゴルフクラブと英賀公園でプレーするメンバー約50名が一堂に集い、親睦を深めました。



12/4 もちもちっ! 杵が抜けない^{きね}

平成の森ドーム（蒜山西茅部）で「世代交流餅つき大会&あ・そ・ぼ」を蒜山川上コミュニティ推進委員会が開催。参加した親子、高齢者らはもちつき、たこづくりなどを通して親睦を深めました。



12/11 食の大切さを伝える

栄養改善協議会落合支部が、中学生に食の大切さを知ってもらおうと「ヘルササポーター21」を開催。参加した落合中学生11名は調理実習やクリスマス会などで健康や食への意識を高めました。



市内3ゲレンデは積雪十分



雪が舞い散る、津黒高原スキー場の様子

12月17日、市内蒜山地域の3スキー場（津黒高原スキー場、上蒜山スキー場、ひるぜんベアバレススキー場）がオープン。上蒜山スキー場では、3スキー場の合同スキー場開きがあり、関係者約50名が参加してシーズン中の安全を祈願しました。各スキー場とも12月初旬から雪に恵まれ、積雪は十分。訪れた家族連れなどは白銀世界の中、スキーやスノーボードを楽しんでいました。3月初旬（営業予定）まで市内でウィンタースポーツが楽しめます。



あこがれの福田選手の指導を受ける子どもたち

12月4日、サッカー元日本代表、福田雅博さん（元Jリーグ浦和レッズ所属）が、市内スポーツ少年団員や中高生約140人に世界を舞台に培った技術を指導しました。落合地区総合型地域スポーツクラブ準備委員会の招きで、落合総合運動公園を訪れた福田さんはリフティング実演や、ゲーム感覚で学ぶボールや身体の動かし方を指導。参加した子どもたちは、小学生の部・中高生の部、各90分の間、あこがれの選手の指導に目を輝かせながら技術を吸収していました。

世界舞台の技学ぶ

杜市の彩り

季節を感じて

雲海の広がる蒜山高原から顔をのぞかせた朝日です。今回の国体縦走コースとなった、朝鍋鷲ヶ山登山道の中腹から撮影しました。以前、この場所は茂みを奥深くまで入って行く大変な場所でしたが、今では登山道もでき、少し寝坊しても朝日の撮影には間に合うようになりました。

今から十数年前のこと、言葉では言い表せない美しい朝日を眺めたことがあります。そのときのイメージを撮影したいと、本格的にカメラを始めました。しかし、時がたった今でも、あのときと同じイメージの朝日には出会えません。今年こそ出会える日がやって来ると信じて、天気の良い朝は撮影に出かけようと思います。—— 眞司さん談



蒜山高原に昇る朝日 平成17年7月 撮影
撮影者 長恒眞司 さん（蒜山下徳山）

12月は思わぬ大雪が訪れました。市内を回っていると南部と北部の気候の違いに今さらながら驚かされます。南に住む人たちは北部の雪の多さが想像できるだろうか。北に住む人たちは南部の雪の少なさが想像できるだろうか。ついつい、そう考えてしまいます。広い真庭市。こうした場面でも、情報の共有化は重要です。真庭市の魅力を伝えると同時に、その地域の実情や課題を伝える。広報まにわも、その課題にはまだまだですね。 ㊦

編集後記 まにわがスキツ!!

取材の道中では数々の出会いがあります。ダイコンを一輪車で運ぶおばあちゃん、雪かきをする親子など、車中から見える一瞬ですが、皆さんの表情の豊かなこと。このシーンは今使えないが、いつかきつと使える！写真を撮ろうかどうか悩んでいるうちに車は進みます。いつもこのように悔やんでいるので、今年から方向転換します。皆さん「広報まにわ」のステッカーを張った車を見かけたら、撮影にご協力お願いします。 ㊦